

視聴覚教育

NO 172

発行日
3. 5. 24発行
岡崎市AVL
編集
広報委員会

県大会の年を迎えて

視聴覚教育部長 加藤 憲 尚

平成三年度がスタートした。新学習指導要領の実施も小学校ではいよいよ来年度に、中学校では再来年度に迫って来た。本年度は改訂の主旨を生かしながら移行に全力をあげて取り組まなければいけない年である。

今回の教育課程基準の改善で、視聴覚教育面でも重要な項目が盛り込まれた。それは、「社会の変化に対応した教育内容の改善」の中で、「情報化に対応する観点から、情報の理解、選択、処理、創造などに必要な能力及びコンピュータ等の情報手段を活用する能力と態度の育成が図られるように配慮すること」が明記されたことである。従来は、こうした面に関心の強いものの実践にとどまっていたことが、今後は、すべてに課せられることになったわけである。

今年度の視聴覚部の活動も、こうした改善の主旨を十分生かすよう心がけて行きたい。

とりわけ本年度は、視聴覚教育研究の県大会の年である。すでに会場校の細川小学校、新香山中学校は、昨年度より、着々と準備体制を整え、十一月十二日の発表会当日に向けて、研究を続けていて下さる。

この愛知県学校視聴覚教育研究大会が岡崎で開催されるのは、昭和五十二年、連尺小・城北中を会場にした時以来のことである。実に十四年ぶりのことである。この大会は二年に一度ずつ、尾張・三河で交互に開催するのが習わしである。

今回の研究テーマは、「個性を大切に、人間性豊かな子どもを育てるための視聴覚教育のあり方を追究しよう」である。このテーマを受けて、細川小では、「自ら調べ、磨き合い、生きる学習の建設」、新香山中学校は、「自己教育力を高める授業の創造」を視聴覚教材の効果的な活用を通して迫ろうとしている。

大会当日は、それぞれの学校で、午前中は公開授業、午後からは、各校に集まり、全体会と記念講演を開く予定である。

久しぶりに岡崎で開催する大会である。多くの方々の御指導・御援助をいただき、ぜひ実り多き会にしたいと念願するものである。



研究方針・組織決定!

今年度の研究主題

個性を大切に、人間性豊かな子どもを育てるための視聴覚教育のあり方を追究しよう

研究の重点

- (1) 授業で生かせる自作視聴覚教材の制作とその活用
- (2) 学習効果を高める放送学習の実践
- (3) 視聴覚教室の総合的な活用
- (4) 校内放送の充実と双方向システム活用法の研究
- (5) パソコン機能の理解とその活用法の研究

組織

部長 加藤 憲尚(井田小長)

都築 塾雄(北野小長)

大須賀明彦(南中長)

指導員 高木 和広

世話係 山田 賛平(竜南中)

小栗 正貴(北中)

萩原 寛(大樹寺小)

加藤 尚(緑丘小)

ライブラリー職員

岸 明信

山内 薫

運営委員

原田 平(六中)

寛 美鈴(藤川小)

内藤 法雄(矢南小)

羽根 一夫(美川中)

杉浦 修(甲山中)

八田 敏公(連尺小)

内田 義和(新香山中)

鈴木 淳二(細川小)

名倉 嘉章(上地小)



各種大会・研究会のお知らせ

- 愛知県放送教育特別研究会 8月12日・13日 名古屋
- 学校視聴覚教育全国大会 10月31日～11月1日 岡山市
- 全国視聴覚教育研究大会 10月31日～11月1日 福井市
- 放送教育研究会全国大会 11月7日・8日 北九州市
- 愛知県学校視聴覚教育研究大会 11月12日 岡崎市
- 東海・北陸地方放送教育研究会 11月14日・15日 沼津市

ライブラリーだよ!

☆16ミリ映画の配達・回収

ライブラリーでは、16ミリ映画の配達・回収サービスを行っています。毎週火曜日に小中学校や市民センター等へ配達し、翌週の月曜日には回収にうかがいます。「視聴覚教材・機材目録」でフィルムを選び、必ず電話で予約してください。

☆ビデオのダビング

ライブラリー等で制作した自作ビデオのダビングを行っています。

ビデオテープの背に番組名と所属を書いて送ってください。

なお、原則として一番組一本のテープにしてください。

